

(別添4)

【嘉手納町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、嘉手納町教育委員会では、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」と、多様な他者と協働し、共に課題を解決する力を育む「協働的な学び」を一体的に充実させることを目指します。

その実現において、1人1台端末は重要な役割を担います。本町では、GIGAスクール構想によって整備されたICT環境を基盤に、児童生徒が主体的に学びを深め、創造性を育むことができるよう、以下の学びの姿を目指します。

個別最適な学び：1人1台端末を活用し、個々の理解度や学習ペースに合わせた学習計画に基づき、児童生徒一人ひとりが自分のペースで学習を進めます。学習データや生成AI等を活用することで、リアルタイムにフィードバックや学習アドバイスを受け、学習意欲の向上と学力向上を目指します。

協働的な学び：1人1台端末を活用し、他の児童生徒や地域の方々、専門家等とオンラインで繋がり、協働的に課題解決に取り組む機会を創出します。多様な意見に触れることで、視野を広げ、思考力、判断力、表現力等を育みます。

2. GIGA第1期の総括

嘉手納町では、GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末の整備、通信ネットワークの構築など、ICT環境の整備を進めてきました。また、町立の全小中学校が文部科学省の「リーディングDXスクール事業」の指定を受け、教員のICT活用指導力向上のための研修に力を入れてきました。

しかしながら、学校間や教師間におけるICT活用や校務DXの推進状況に差が見られることが課題として挙げられます。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和7年度に予定している端末更新にあたっては、各学校及び関係各課が連携し、円滑な更新作業を進めます。また、ICT支援員の配置、継続的なネットワークアセスメントの実施など、児童生徒にとってより充実した1人1台端末環境の維持に努めます。

さらに、1人1台端末の効果的な利活用推進のために、以下の3つの視点から具体的な取り組みを展開します。

(1) 1人1台端末の積極的な活用

- ・ 各学校のニーズや課題に応じた研修を実施します。
- ・ グループウェア等を活用し、効果的な利活用に関する情報共有を促進します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

- ・ 児童生徒が1人1台端末を積極的に活用できるよう、具体的な活用事例を共有します。

- ・ 先進的な学校の取り組みを紹介し、各学校における研究を深めます。

(3) 全ての児童生徒への学びの保障

- ・ 不登校の児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒、特別な支援を要する児童生徒等に対し、1人1台端末を活用した学習機会を保障します。
- ・ オンライン学習の充実、AIドリル等の活用により、学習の効果を高めます。

4. 今後の計画

上記の取り組みをさらに具体化し、重点的に1人1台端末の利活用を推進します。

○児童生徒がICTを活用する授業改善

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用を推進します。
- ・ 学習支援ツールやAIドリル等を活用し、協働的な学びや個別最適な学びを促進します。

○教職員のICT活用指導力の向上と環境の充実

- ・ 全ての教員が必要に応じて情報を共有できる体制を整備します。
- ・ 校務支援システム等を活用し、端末の利活用に関する情報提供を行います。
- ・ クラウドを活用した個別最適・協働的な学びの充実のための情報共有の仕組みを検討します。
- ・ 不登校児童生徒へのオンラインを活用した指導を充実します。
- ・ 外国人児童生徒、障がいのある児童生徒等へのオンラインやデジタル教材等を活用した支援を充実します。